

日本切手で始める スタートガイド



ギボンスのカラーキーと赤埴輪200円

本書の内容

1. 身近な日本切手をじっくり観察しよう！
2. ピンセットとストックブックを入手しよう！
3. まずは日本切手カタログを入手しよう！
4. 日本切手カタログを使いこなそう！
5. もっと日本切手を知るために

(公財) 日本郵趣協会 普及委員会

<http://yushu.or.jp/>

日本切手で始めるスタートガイド

1. 身近な日本切手をじっくり観察しよう！

いつも郵便局で売っている身近な切手、1枚を取り出してみてください。NIPPONという国名表記、額面（郵便料金分の金額）、図案、目打などをよく観察してみましょう。

切手を貼ってポストに投函すれば、南米の熱帯雨林や中東の砂漠などの集落、あるいは南極大陸の基地や刑務所のような場所にも手紙を届けることができます。紙質や裏糊にしても、日本の高い湿度に耐える工夫がなされています。



目打：切手に付いたギザギザの部分のこと。
郵便マーク：逓信省の「テ」をロゴ化したもの。
(82円切手などの一部の額面に付いている)
国名表記：JAPANではなく、NIPPON（ニッポン）。
日本郵便：ニッポンユウビンと発音する。
図案：日本を代表する事物や風景等を図案にしている。

2. ピンセットとストックブックを入手しよう！

切手用品にはいろいろありますが、切手収集用のピンセットとストックブックは揃えておきましょう。

【ピンセット】

先のギザギザしたピンセットは切手を傷つけますので、必ず平たい「切手用ピンセット」を使用します。120ミリ前後の長さのものは女性や子どもにピッタリ。男性は150ミリ程度のものを選ぶと良いでしょう。



【ストックブック】

切手を保管しておくファイルです。冊子状にした厚紙に透明フィルムかグラシン紙が貼ってあり、そこに切手を挟んで整理します。



ストックブックを使用する目的は1つはストックする、つまり切手を傷つけないでよい状態で保管しておくためです。

もう1つは鑑賞です。ストックブックに切手を丁寧に並べていくと、それだけ見栄えがするものです。規模の大きな文具店でも入手できます。



3. まずは日本切手カタログを入手しよう！

切手を集めるには切手カタログがあると便利です。A5判の1冊の中に、これまで日本で発行された切手のほとんどが採録されていますし、取引価格の目安も分かるように工夫されています。お近くの書店にない場合は、オンライン書店を利用してもよいと思います。最初からいきなり専門カタログを手にとらずに、一般的な切手カタログを選ぶようにしましょう。



『さくら日本切手カタログ』：価格、情報量、使いやすさのバランスがよいカタログです。入門者には最適な内容で、多くの日本切手収集家に支持されてきた日本を代表する切手カタログと言えます。

『ビジュアル日本切手カタログ (Vol.1～5)』：

切手のこぼれ話や歴史的背景もよくわかる画期的なカタログ。読む事典として使えます。

- Vol.1：記念切手編1894－2000
- Vol.2：ふるさと・公園・沖縄編
- Vol.3：年賀・グリーティング切手編
- Vol.4：普通切手編
- Vol.5：記念切手編2001－2016



【中級者向け】 図入りアルバムに整理する人もいます

ストックブックに一定数の日本切手が集まってきたら、図入りアルバムのリーフ（台紙）を使って整理してもよいでしょう。未使用はできるだけマウントをしますが、裏糊のない使用済はマウントでもヒンジでもよいと思います。

用意するもの：

【ヒンジとマウント】

【マーキュリー
日本切手図入りアルバム】



ヒンジで貼る

* ヒンジは糊付きの紙片



マウントで貼る

カッターやハサミに
マウントを切ります。

アルバムリーフはパソコンで
自作する人もいます。



切手を貼り込んだリーフの完成例



アルバムリーフに貼り込む

4. 日本切手カタログを使いこなそう！

切手カタログは実用書ですので、さっそく必要な情報を引く練習をしましょう。少しずつ難度が上がっていきますが、どのカタログでも2分以内に探せるように練習しておくことで日本切手の整理や分類が気持ちよく進んでいきます。

【初級者向け】カタログで見つけて下さい

- ①日本で最初に発行された切手
ヒント：明治4年4月発行の普通切手
- ②最も古い日本の記念切手
ヒント：明治27年発行の記念切手
- ③最も大きな日本の記念特殊切手
ヒント：昭和23年、24年の切手
趣味週間の切手です。

【中級者向け】ご存じですか？○枠はがき

- ④最も古い日本の官製はがき
ヒント：明治6年発行のはがきです。

* 図版の切手が、この問題のどれかの答えです。



【中・上級者向け】日本の普通切手の移り変わり

アルバムリーフと呼ばれる台紙に普通切手を発行年代順に並べました。赤枠にシリーズ名を調べて記入しましょう。何も見ずに書ければ中級者、各年代と特徴まで説明できれば上級者の域です。



日本切手で始めるスタートガイド

5. もっと日本切手を知るために

郵便関連の博物館へ出かけると、新たな発見があるかもしれません。主なスポットとして次のような場所があります。

切手の博物館：

東京・目白駅の近くにあります。切手の博物館だけに入場料200円は未使用の日本切手で払うこともできます。

(171-0031 東京都豊島区目白1-4-23)

郵政博物館：

東京・押上駅に隣接した商業施設東京スカイツリータウン・ソラマチの9階にあります。日本郵便史の収蔵品が充実しています。(131-8139 東京都墨田区押上1-1-2)

お札と切手の博物館：

東京・王子駅の近くにあります。普通切手などの製造をしている国立印刷局の博物館で、切手の印刷のことがよくわかります。(114-0002 東京都北区王子1-6-1)

切手文化博物館：

兵庫県の有馬温泉には、切手文化博物館があります。明治時代に郵便配達に使われた用品など貴重な資料が展示されています。(651-1041 兵庫県神戸市北区有馬町663-3)

前島記念館：

日本郵便の父・前島密の生家跡に建てられた記念館です。(943-0119 新潟県上越市下池部神明替1317-1)

日本切手で始めるスタートガイド

制作・発行：(公財)日本郵趣協会 普及委員会 2019年度
171-0031 東京都豊島区目白1-4-23 切手の博物館 4階
TEL 03-5951-3311 (代表) FAX 03-5951-3315